

令和3年11月18日

加盟校各位

日本学生氷上競技連盟会長 福田 弥夫

第94回日本学生氷上競技選手権大会における宿泊の手配について

加盟校各位におかれましては、2年ぶりの日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）に向けて、練習に励んでおられることと存じます。一部の部門ではすでに予選会が終了しているところもあり、帯広行きの準備に入られているチームも多いことと思います。

すでにホームページを通じてお知らせしておりますように、今回の帯広大会では、JTB北海道事業部帯広サテライト様が宿泊等の手配を担当することとなりました。

ご承知の通り、新型コロナウイルス感染症の拡大は小康状態にありますが、1月に向けて第6波の到来も予想されているところです。主催者である我々日本学生氷上競技連盟は、8月に苫小牧市で開催された第16回選抜高等学校アイスホッケー大会における大規模なクラスター発生（大規模集団感染）を踏まえ、新型コロナウイルス対応を十分に行うことが確認された宿舎のみへの配宿をお願いしております。また、アイスホッケー競技の場合は、対戦校同士の同一宿舎を避けるなどの問題もあり、参加チームの旅行手配等に関しましては、JTB北海道事業部帯広サテライト様を利用するようお願い致します。

JTB北海道事業部帯広サテライト様を経由しない場合には、各自で新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について事前に確認することが必要です。国立感染症研究所による令和3年9月27日付の事例報告[全国高等学校選抜アイスホッケー大会における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）事例（niid.go.jp）](https://www.niid.go.jp/niid/info/20210927_01)を熟読のうえ、各宿泊施設に対して照会すべき事項を正確に理解して、安全対策を確認してください。照会事項についてのガイドラインは設けておりません。安全対策の確認が取れた際には、必ず当連盟に対してその内容を報告してください。不十分な場合には、再度の照会をお願いする場合がありますことを付け加えます。

以上